

# 令和3年度 第1四半期地域経済動向調査

(令和3年4月～6月 新温泉町商工会)

以下の調査報告内容の詳細については、各ホームページよりご確認ください。

## ①会員アンケート調査

会員アンケート調査 (新温泉町商工会)

<https://www.sinonsen.com/>

## ②中小企業景況感

中小企業景況調査 (全国商工会連合会)

[http://www.shokokai.or.jp/?page\\_id=6633](http://www.shokokai.or.jp/?page_id=6633)

## ③地域の雇用情勢

地域雇用情勢調査 (豊岡公共職業安定所)

<https://www.hwiroha.com/area/Hyogo/Toyooka.html>

## ④業種別業況判断

但馬の経済指標 (兵庫県但馬県民局)

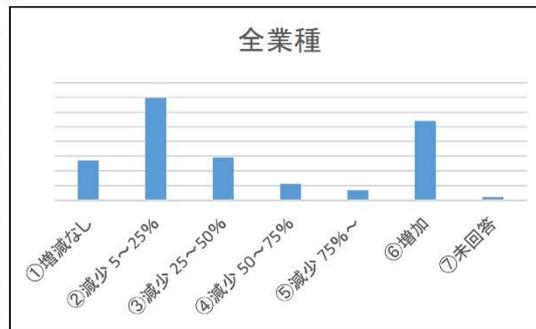
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk04/keizai/index.html>

①会員アンケート調査 調査依頼 120 企業 回答 89 企業（うち QR29 企業）回答率 74.2%

1.売上状況

(令和2年4月～6月)と(令和3年4月～6月)の比較

全業種		
4～6月	件数	構成比
①増減なし	12	13.5%
②減少 5～25%	31	34.8%
③減少 25～50%	13	14.6%
④減少 50～75%	5	5.6%
⑤減少 75%～	3	3.4%
⑥増加	24	27.0%
⑦未回答	1	1.1%
総計	89	100.0%



建設業		
4～6月	件数	構成比
①増減なし	3	25.0%
②減少 5～25%	6	50.0%
③減少 25～50%	0	0.0%
④減少 50～75%	0	0.0%
⑤減少 75%～	0	0.0%
⑥増加	3	25.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

製造業		
4～6月	件数	構成比
①増減なし	3	25.0%
②減少 5～25%	3	25.0%
③減少 25～50%	2	16.7%
④減少 50～75%	1	8.3%
⑤減少 75%～	0	0.0%
⑥増加	3	25.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
4～6月	件数	構成比
①増減なし	0	0.0%
②減少 5～25%	2	28.6%
③減少 25～50%	1	14.3%
④減少 50～75%	1	14.3%
⑤減少 75%～	0	0.0%
⑥増加	3	42.9%
⑦未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
4～6月	件数	構成比
①増減なし	1	4.5%
②減少 5～25%	12	54.5%
③減少 25～50%	3	13.6%
④減少 50～75%	0	0.0%
⑤減少 75%～	0	0.0%
⑥増加	6	27.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	22	100.0%

飲食業		
4～6月	件数	構成比
①増減なし	0	0.0%
②減少 5～25%	1	11.1%
③減少 25～50%	3	33.3%
④減少 50～75%	2	22.2%
⑤減少 75%～	0	0.0%
⑥増加	2	22.2%
⑦未回答	1	11.1%
総計	9	100.0%

宿泊業		
4～6月	件数	構成比
①増減なし	2	14.3%
②減少 5～25%	2	14.3%
③減少 25～50%	4	28.6%
④減少 50～75%	0	0.0%
⑤減少 75%～	3	21.4%
⑥増加	3	21.4%
⑦未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

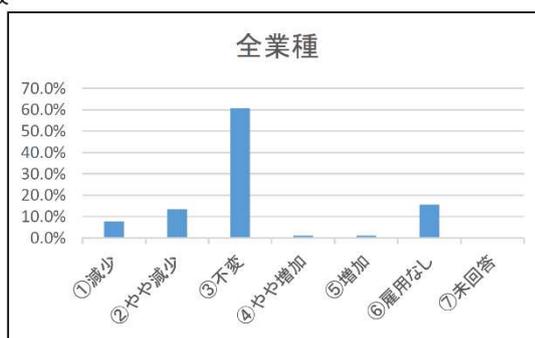
サービス業		
4～6月	件数	構成比
①増減なし	2	16.7%
②減少 5～25%	5	41.7%
③減少 25～50%	0	0.0%
④減少 50～75%	1	8.3%
⑤減少 75%～	0	0.0%
⑥増加	4	33.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

農業		
4～6月	件数	構成比
①増減なし	1	100.0%
②減少 5～25%	0	0.0%
③減少 25～50%	0	0.0%
④減少 50～75%	0	0.0%
⑤減少 75%～	0	0.0%
⑥増加	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

## 2.雇用状況

(令和3年3月31日)と(令和3年6月30日)の比較

全業種		
6月30日	件数	構成比
①減少	7	7.9%
②やや減少	12	13.5%
③不変	54	60.7%
④やや増加	1	1.1%
⑤増加	1	1.1%
⑥雇用なし	14	15.7%
⑦未回答	0	0.0%
総計	89	100.0%



建設業		
6月30日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	1	8.3%
③不変	7	58.3%
④やや増加	1	8.3%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	3	25.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

製造業		
6月30日	件数	構成比
①減少	1	8.3%
②やや減少	4	33.3%
③不変	6	50.0%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	1	8.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
6月30日	件数	構成比
①減少	1	14.3%
②やや減少	0	0.0%
③不変	5	71.4%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	1	14.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
6月30日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	5	22.7%
③不変	14	63.6%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	3	13.6%
⑦未回答	0	0.0%
総計	22	100.0%

飲食業		
6月30日	件数	構成比
①減少	2	22.2%
②やや減少	0	0.0%
③不変	6	66.7%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	1	11.1%
⑦未回答	0	0.0%
総計	9	100.0%

宿泊業		
6月30日	件数	構成比
①減少	3	21.4%
②やや減少	1	7.1%
③不変	8	57.1%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	2	14.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

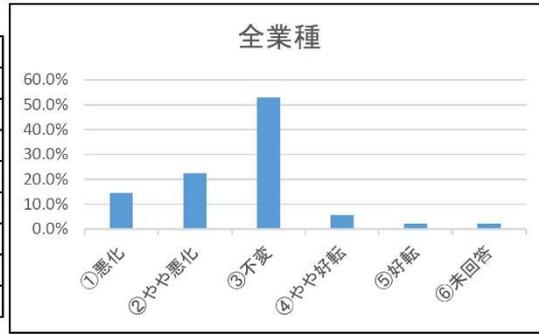
サービス業		
6月30日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	1	8.3%
③不変	7	58.3%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	1	8.3%
⑥雇用なし	3	25.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

農業		
6月30日	件数	構成比
①減少	0	0.0%
②やや減少	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや増加	0	0.0%
⑤増加	0	0.0%
⑥雇用なし	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

### 3.資金繰り状況

(令和3年3月31日)と(令和3年6月30日)の比較

全業種		
6月30日	件数	構成比
①悪化	13	14.6%
②やや悪化	20	22.5%
③不変	47	52.8%
④やや好転	5	5.6%
⑤好転	2	2.2%
⑥未回答	2	2.2%
総計	89	100.0%



建設業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	3	25.0%
③不変	6	50.0%
④やや好転	2	16.7%
⑤好転	1	8.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

製造業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	2	16.7%
②やや悪化	3	25.0%
③不変	7	58.3%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	3	42.9%
②やや悪化	1	14.3%
③不変	3	42.9%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	3	13.6%
②やや悪化	4	18.2%
③不変	14	63.6%
④やや好転	1	4.5%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	22	100.0%

飲食業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	2	22.2%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	4	44.4%
④やや好転	1	11.1%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	2	22.2%
総計	9	100.0%

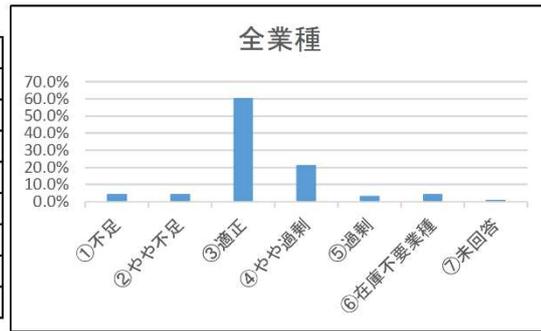
宿泊業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	3	21.4%
②やや悪化	5	35.7%
③不変	6	42.9%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

サービス業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	4	33.3%
③不変	6	50.0%
④やや好転	1	8.3%
⑤好転	1	8.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

農業		
6月30日	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

4.在庫状況  
(令和3年6月30日現在)

全業種		
6月30日	件数	構成比
①不足	4	4.5%
②やや不足	4	4.5%
③適正	54	60.7%
④やや過剰	19	21.3%
⑤過剰	3	3.4%
⑥在庫不要業種	4	4.5%
⑦未回答	1	1.1%
総計	89	100.0%



建設業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	1	8.3%
③適正	10	83.3%
④やや過剰	1	8.3%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

製造業		
6月30日	件数	構成比
①不足	1	8.3%
②やや不足	0	0.0%
③適正	7	58.3%
④やや過剰	3	25.0%
⑤過剰	1	8.3%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
6月30日	件数	構成比
①不足	1	14.3%
②やや不足	0	0.0%
③適正	1	14.3%
④やや過剰	5	71.4%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
6月30日	件数	構成比
①不足	1	4.5%
②やや不足	2	9.1%
③適正	16	72.7%
④やや過剰	3	13.6%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	22	100.0%

飲食業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	6	66.7%
④やや過剰	1	11.1%
⑤過剰	1	11.1%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	1	11.1%
総計	9	100.0%

宿泊業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	8	57.1%
④やや過剰	5	35.7%
⑤過剰	1	7.1%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

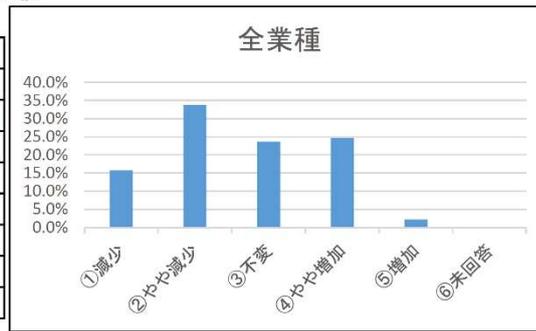
サービス業		
6月30日	件数	構成比
①不足	0	0.0%
②やや不足	1	8.3%
③適正	6	50.0%
④やや過剰	1	8.3%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	4	33.3%
⑦未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

農業		
6月30日	件数	構成比
①不足	1	100.0%
②やや不足	0	0.0%
③適正	0	0.0%
④やや過剰	0	0.0%
⑤過剰	0	0.0%
⑥在庫不要業種	0	0.0%
⑦未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

5.今後の見通し(売上高)

(令和3年4月～6月)と(令和3年7月～9月)の比較

全業種	7～9月	件数	構成比
①減少		14	15.7%
②やや減少		30	33.7%
③不変		21	23.6%
④やや増加		22	24.7%
⑤増加		2	2.2%
⑥未回答		0	0.0%
総計		89	100.0%



建設業	7～9月	件数	構成比
①減少		3	25.0%
②やや減少		4	33.3%
③不変		4	33.3%
④やや増加		1	8.3%
⑤増加		0	0.0%
⑥未回答		0	0.0%
総計		12	100.0%

製造業	7～9月	件数	構成比
①減少		1	8.3%
②やや減少		5	41.7%
③不変		2	16.7%
④やや増加		3	25.0%
⑤増加		1	8.3%
⑥未回答		0	0.0%
総計		12	100.0%

卸売業	7～9月	件数	構成比
①減少		2	28.6%
②やや減少		4	57.1%
③不変		1	14.3%
④やや増加		0	0.0%
⑤増加		0	0.0%
⑥未回答		0	0.0%
総計		7	100.0%

小売業	7～9月	件数	構成比
①減少		1	4.5%
②やや減少		9	40.9%
③不変		6	27.3%
④やや増加		6	27.3%
⑤増加		0	0.0%
⑥未回答		0	0.0%
総計		22	100.0%

飲食業	7～9月	件数	構成比
①減少		2	22.2%
②やや減少		1	11.1%
③不変		1	11.1%
④やや増加		5	55.6%
⑤増加		0	0.0%
⑥未回答		0	0.0%
総計		9	100.0%

宿泊業	7～9月	件数	構成比
①減少		5	35.7%
②やや減少		2	14.3%
③不変		1	7.1%
④やや増加		5	35.7%
⑤増加		1	7.1%
⑥未回答		0	0.0%
総計		14	100.0%

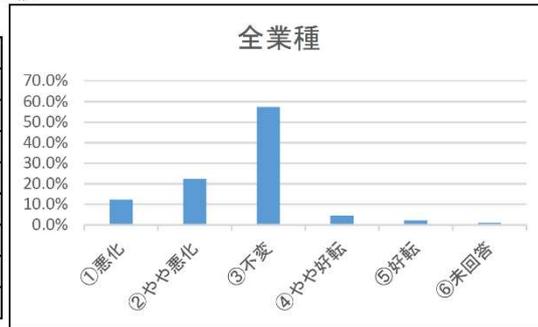
サービス業	7～9月	件数	構成比
①減少		0	0.0%
②やや減少		5	41.7%
③不変		5	41.7%
④やや増加		2	16.7%
⑤増加		0	0.0%
⑥未回答		0	0.0%
総計		12	100.0%

農業	7～9月	件数	構成比
①減少		0	0.0%
②やや減少		0	0.0%
③不変		1	100.0%
④やや増加		0	0.0%
⑤増加		0	0.0%
⑥未回答		0	0.0%
総計		1	100.0%

6.今後の見通し(資金繰り)

(令和3年4月～6月)と(令和3年7月～9月)の比較

全業種		
7～9月	件数	構成比
①悪化	11	12.4%
②やや悪化	20	22.5%
③不変	51	57.3%
④やや好転	4	4.5%
⑤好転	2	2.2%
⑥未回答	1	1.1%
総計	89	100.0%



建設業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	1	8.3%
②やや悪化	4	33.3%
③不変	6	50.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	1	8.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

製造業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	2	16.7%
②やや悪化	1	8.3%
③不変	7	58.3%
④やや好転	1	8.3%
⑤好転	1	8.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	3	42.9%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	4	57.1%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	1	4.5%
②やや悪化	7	31.8%
③不変	12	54.5%
④やや好転	1	4.5%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	1	4.5%
総計	22	100.0%

飲食業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	1	11.1%
②やや悪化	1	11.1%
③不変	6	66.7%
④やや好転	1	11.1%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	9	100.0%

宿泊業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	3	21.4%
②やや悪化	3	21.4%
③不変	7	50.0%
④やや好転	1	7.1%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

サービス業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	4	33.3%
③不変	8	66.7%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

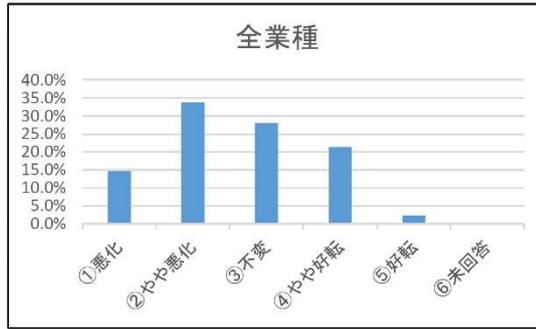
農業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

7.今後の見通し(業況判断)

(令和3年4月～6月)と(令和3年7月～9月)の比較

全業種

7～9月	件数	構成比
①悪化	13	14.6%
②やや悪化	30	33.7%
③不変	25	28.1%
④やや好転	19	21.3%
⑤好転	2	2.2%
⑥未回答	0	0.0%
総計	89	100.0%



建設業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	1	8.3%
②やや悪化	5	41.7%
③不変	4	33.3%
④やや好転	1	8.3%
⑤好転	1	8.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

製造業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	3	25.0%
②やや悪化	3	25.0%
③不変	3	25.0%
④やや好転	2	16.7%
⑤好転	1	8.3%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

卸売業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	3	42.9%
②やや悪化	3	42.9%
③不変	1	14.3%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	7	100.0%

小売業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	1	4.5%
②やや悪化	8	36.4%
③不変	6	27.3%
④やや好転	7	31.8%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	22	100.0%

飲食業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	4	44.4%
③不変	1	11.1%
④やや好転	4	44.4%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	9	100.0%

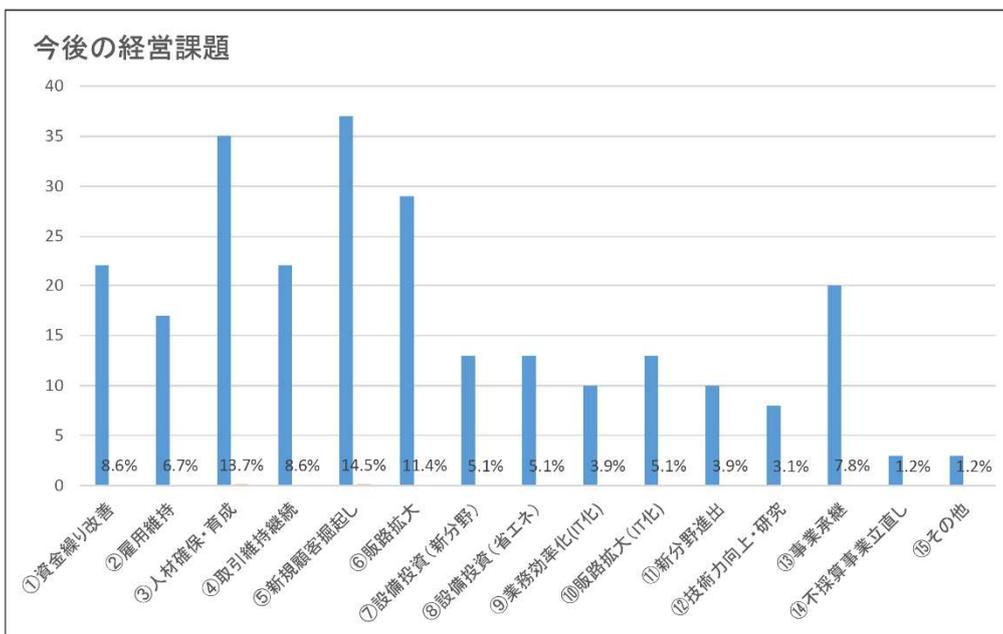
宿泊業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	5	35.7%
②やや悪化	3	21.4%
③不変	2	14.3%
④やや好転	4	28.6%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	14	100.0%

サービス業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	4	33.3%
③不変	7	58.3%
④やや好転	1	8.3%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	12	100.0%

農業		
7～9月	件数	構成比
①悪化	0	0.0%
②やや悪化	0	0.0%
③不変	1	100.0%
④やや好転	0	0.0%
⑤好転	0	0.0%
⑥未回答	0	0.0%
総計	1	100.0%

8.今後の経営課題(複数回答可)

経営課題	件数	構成比
①資金繰り改善	22	8.6%
②雇用維持	17	6.7%
③人材確保・育成	35	13.7%
④取引維持継続	22	8.6%
⑤新規顧客掘起し	37	14.5%
⑥販路拡大	29	11.4%
⑦設備投資(新分野)	13	5.1%
⑧設備投資(省エネ)	13	5.1%
⑨業務効率化(IT化)	10	3.9%
⑩販路拡大(IT化)	13	5.1%
⑪新分野進出	10	3.9%
⑫技術力向上・研究	8	3.1%
⑬事業承継	20	7.8%
⑭不採算事業立直し	3	1.2%
⑮その他	3	1.2%
総計	255	100.0%



②中小企業景況感 (DIは、増加(上昇、好転)企業割合から減少(低下、悪化)企業割合を差し引いた値を示します。)

製造業

幅広い業種で大きく改善した製造業の景況

2021年4-6月期の製造業の主要3 DIは、売上(加工)額 DIはマイナス10.7(前期比34.9ポイント上昇)、採算(経常利益) DIはマイナス20.3(同19.1ポイント上昇)、資金繰り DIはマイナス14.7(同10.0ポイント上昇)といずれも前期から大きく改善したが、特に売上額 DIの水準が他の業種に比べても改善しているのが目立つ。

1年前の同時期と比較すると、売上は60.4ポイント、採算は43.3ポイント、資金繰りは36.6ポイントと大きく上回るが、特に売上額 DI、採算 DIの2つは一昨年同時期の水準と比べても改善していることがわかる。

DIの内訳をみると、3 DIのいずれも当期が前年同期より「減少・低下・悪化」という回答が前期に比べて大きく低下(売上18.5ポイント、採算10.4ポイント、資金繰り6.5ポイントそれぞれ低下)すると共に「増加・上昇・好転」という回答の割合が大きく上昇(売上16.4ポイント、採算8.7ポイント、資金繰り3.5ポイントそれぞれ上昇)した。

業種別にみた DIもほぼ全ての範囲で改善し、前期から悪化したのは「衣服・その他繊維製品製造業」の採算 DIのみ(前期比1.1ポイントマイナス)であった。また、今回は水準自体がプラスに改善した業種として、「輸送用機械器具製造業」(売上36.2、採算27.1、資金繰り11.1)、「化学工業」(売上14.3、採算9.5、資金繰り4.8)、「パルプ・紙・紙加工品製造業」(売上27.8)、「プラスチック製品製造業」(売上9.4)、「精密機械器具製造業」(売上5.2)、「電気機械器具製造業」(資金繰り3.6)の6業種が確認できる。

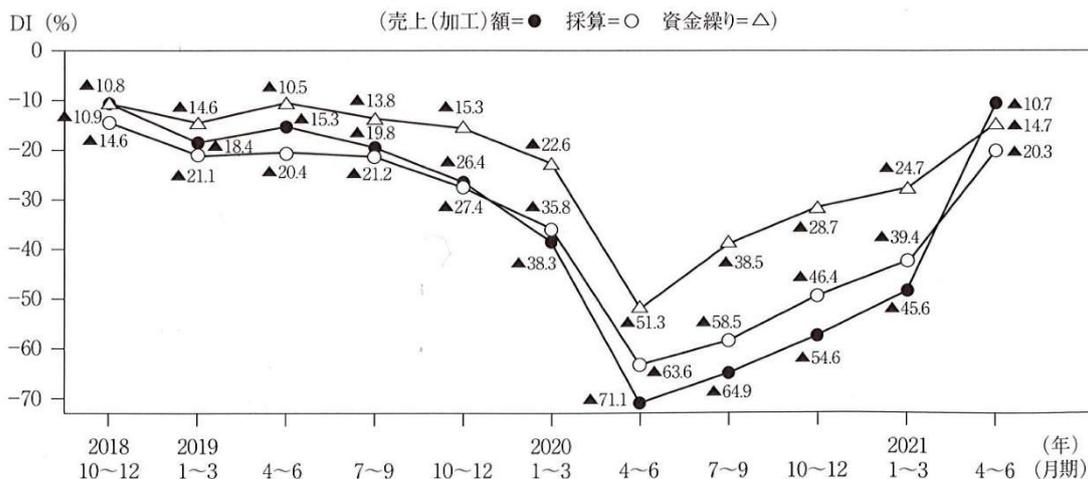
地域別も同様に、ほぼ全ての DIが前期と比べて改善し、唯一「北海道」の資金繰りのみが対前期でマイナスとなった(対前期マイナス6.2ポイント低下)。また、「中国」と「四国」の売上額 DIの水準はプラスに回復している(それぞれ2.3、3.3)。

人口規模別、および従業員規模別でみた DIは全ての区分で改善がみられた。このうち人口規模別では区分ごとの明確な違いはみられないが、従業員規模別の DIは、比較的規模の大きい区分で DIの水準がプラスとなり、「21人～50人以下」(売上19.0、採算17.8、資金繰り11.9)「51人～100人以下」(売上17.4、採算4.4、資金繰り17.4)、「101人以上」(売上25.0、採算25.0)と大幅に上昇したことが特徴的である。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題点として指摘されるのは前回同様「需要の停滞」が33.4%だった。対前期比では4.9ポイント低下したものの依然として需要不足の懸念を指摘する割合は大きいことがわかる。2位は「原材料価格の上昇」13.4%で前回の4位から上昇し、指摘する割合も6.1ポイントと大きく増加した。以降は「生産設備の不足・老朽化」11.3%(同0.5ポイント上昇)、4位「製品ニーズの変化」7.7%(同0.8ポイント低下)と従来上位の項目が続く。

1. 主要3項目の動き

(図2-1) 主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	34.9				19.1			
前年比	60.4				43.3			

# 建設業

## 他と比べると改善幅は緩やかなものの、4期連続で改善が続く建設業

2021年4～6月期の建設業の主要3DIは、完成工事（請負工事）額DIがマイナス14.8（前期比6.9ポイント上昇）、採算（経常利益）DIはマイナス19.9（同1.0ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス3.5（同5.7ポイント上昇）と改善した。元々他の業種と比較するとDIの水準自体が高いため、上昇幅は1桁台ではあるものの3DI全てで改善がみられた。

1年前の水準と比較すると、完成工事は21.0ポイント、採算は13.2ポイント、資金繰りは19.0ポイント前年同期を上回って推移している。ただしいずれのDIも一昨年同時期の水準には達していないことがわかる。

DIの内訳をみると、3DIのいずれも、当期が前年同期より「増加・上昇・好転」という回答の割合が前期に比べて上昇し（完成工事（請負工事）額4.8ポイント、採算1.8ポイント、資金繰り2.0ポイントそれぞれ増加）、「減少・低下・悪化」という回答が低下（売上2.1ポイント、採算0.8ポイント、資金繰り3.7ポイントそれぞれ減少）していた。

業種別DIをみると、特に売上額DIは「総合工事業」マイナス12.1（前期比5.1ポイント上昇）、「職別工事業」マイナス19.9（同10.5ポイント上昇）、「設備工事業」マイナス15.1（同7.0ポイント上昇）といずれも大きく改善する結果となった。その他も前期から改善したDIが多く、マイナスとなったのは「総合工事業」の採算（前期比1.4ポイント低下）、「設備工事業」の資金繰り（同0.5ポイント低下）のみであった。

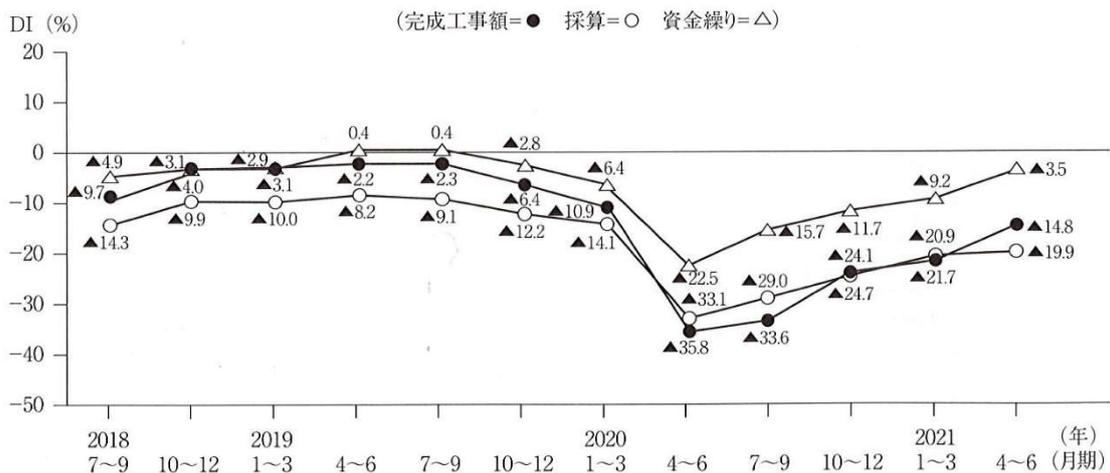
地域別も多くは改善傾向にあるものの、九州は主要3DI全てが対前期でマイナスとなった（売上7.9ポイント、採算3.8ポイント、資金繰り0.6ポイントそれぞれ低下）他、「近畿」の採算および資金繰り（それぞれ4.0ポイント、1.6ポイント低下）、「関東」の採算（4.9ポイント低下）で前期より悪化する結果となった。

人口規模別でも対前期で改善している区分が多いが特に明確な傾向はなく、水準は区分別での格差はさほど見られない。今回は「人口一万人未満の地区」の資金繰りの水準がわずかではあるもののプラスへと改善した（0.5）。一方、従業員規模別の水準は規模が大きい区分ほど高い傾向にあるが、売上高DIは全ての区分で対前期から改善している。こちらも「11人～20人以下」の資金繰り（3.2）、「21人～50人以下」の資金繰り（2.4）、「51人～100人以下」の売上額（11.1）など複数で水準がプラスに改善した区分がみられる。

経営上の問題点の推移をみると、「材料価格の上昇」が19.5%で前回の5位から11.2ポイントと大幅に増加し1位となった。他にも「材料の入手難」は前回の16位から5.0%増加して6位に上昇しており、今回は材料に関する点を問題としてあげる経営者が増加している。以降は、「従業員の確保難」（15.2%）が5.2%減少し前回の1位から2位に変動、3位は「民間需要の停滞」（13.8%）、4位「官公需要の停滞」（11.9%）と続く。人材確保の問題や、需要の停滞をあげる割合は依然として大きいものの、今回はどちらも前期よりはその割合が低下している。

### 1. 主要3項目の動き

（図3-1）主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	6.9				▲1.0			
前年比	21.0				13.2			

# 小売業

## 改善は続くが、他の分野より低い水準で推移する小売業

2021年4～6月期の小売業の主要3DIは、売上額DIはマイナス27.5（前期比22.7ポイント上昇）、採算DIはマイナス36.8（同6.7ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス23.6（同4.0ポイント上昇）で前期に比べ改善したが、特に売上額DIは2桁ポイントの大幅上昇となった。

1年前の水準と比較すると、売上は43.7ポイント、採算は25.9ポイント、資金繰りは25.3ポイント上回って推移しており、中でも売上額DIは一昨年同時期の水準も上回る結果となっている。

DIの内訳をみると、当期が前年同期より「減少・低下・悪化」したという回答が前期に比べて大きく低下していることがわかり（売上13.3ポイント、採算5.2ポイント、資金繰り3.5ポイントそれぞれ減少）、加えて「増加・上昇・好転」したという回答の割合も増加し（売上9.4ポイント、採算1.5ポイント、資金繰り0.5ポイントそれぞれ上昇）、3DIの改善につながっている。

業種別にみたDIは、主要3DIの多くが対前期で改善している。中でも売上額は「各種商品小売業」（対前期16.3ポイント上昇）、「織物・衣服・身の回り品小売業」（同30.6ポイント上昇）、「飲食料点小売業」（同22.8ポイント上昇）「その他小売業」（同26.9ポイント上昇）と6業種中4業種で対前期から2桁を超えて大きく改善した。一方、「自動車・自転車小売業」だけは3DI全てが前期より悪化している（売上2.4ポイント、採算6.5ポイント、資金繰り6.4ポイントそれぞれ低下）。

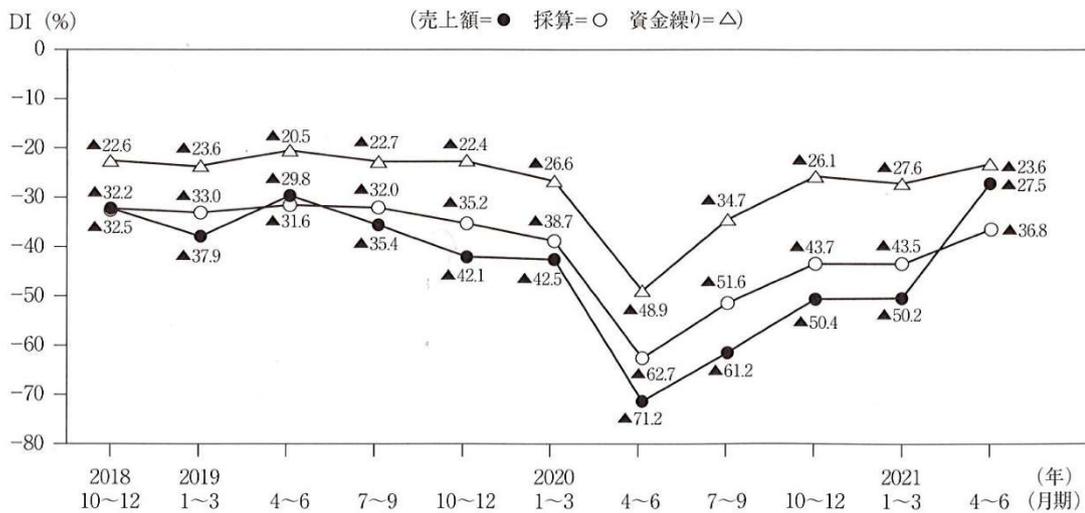
地域別も同様に対前期で改善しており、特に売上額は8地域の全てで2桁の改善幅を示している。今回、対前期でマイナスとなったのは「東北」の資金繰り（対前期1.4ポイント低下）、「中部」の採算（同マイナス2.3ポイント低下）のみであった。

人口規模別、従業員規模別もほとんどの区分で主要3DIが対前期プラスに改善している。このうち人口規模別では全4区分全ての売上額が2桁の改善幅を示しており、対前期でマイナスとなったのは一番大きい区分「人口十万人以上の地区又は含まれる地区」の採算（対前期1.2ポイント低下）と資金繰り（同2.0ポイント低下）のみであった。また、従業員規模別では、「6人～10人以下」の区分の売上額が対前期47.2ポイントと大幅に上昇した結果、水準でも5.7とプラスに改善する結果になっている。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題点として指摘される割合は前回同様「需要の停滞」が一番高く、割合は25.7%と前期からは0.6ポイント増加している。2位以下は「消費者ニーズの変化」13.7%（対前期1.4ポイント低下）、「購買力の他地域への流出」12.7%（同0.4ポイント上昇）、「大型店・中型店の進出による競争の激化」12.3%（同0.3ポイント低下）と続く。また、「仕入単価の上昇」は前期から1.5ポイント増加し6位となっており、ここでも原材料費価格上昇が影響を与えていることが示されている。

### 1. 主要3項目の動き

〈図4-1〉 主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	22.7				6.7			
前年比	43.7				25.9			

# サービス業

## 宿泊業、飲食店の景況が改善し、主要3DIが大きく上昇したサービス業

2021年4～6月期のサービス業の主要3DIは、売上（収入）額DIはマイナス15.9（前期比45.2ポイント上昇）、採算（経常利益）DIはマイナス29.7（同22.9ポイント上昇）、資金繰りDIはマイナス22.9（同16.1ポイント上昇）といずれも2桁の大幅改善となった。サービス業は昨年同時期からのコロナ禍における影響で、いずれも他の業種と比較し一番低い水準に留まっていたが、今期は主要3DI全てで他の区分と比較し一番改善幅が大きい結果となった。

1年前の水準と比較すると、売上は64.0ポイント、採算は42.3ポイント、資金繰りは35.6ポイントといずれも前年同期を大きく上回るものの、いずれのDIも一昨年同時期の水準までには戻ってはいない。

DIの内訳をみると、当期が前年同期より「減少・低下・悪化」したという回答が前期に比べて2桁以上の幅で低下（売上25.5ポイント、採算14.6ポイント、資金繰り11.6ポイントそれぞれ減少）したのが特徴的である。加えて、「増加・上昇・好転」したという回答の割合も順調に増加（売上19.7ポイント、採算8.3ポイント、資金繰り4.5ポイントそれぞれ上昇）している。

業種別の主要3DIは全てで前期より改善したが、中でも売上額DIの改善幅は大きい。「宿泊業」は対前期72.2ポイント、「飲食店（一般・遊興）」で同60.2ポイントと大幅に改善し、その結果水準もそれぞれマイナス11.5（宿泊業）、マイナス21.2（飲食店）にまで回復している。

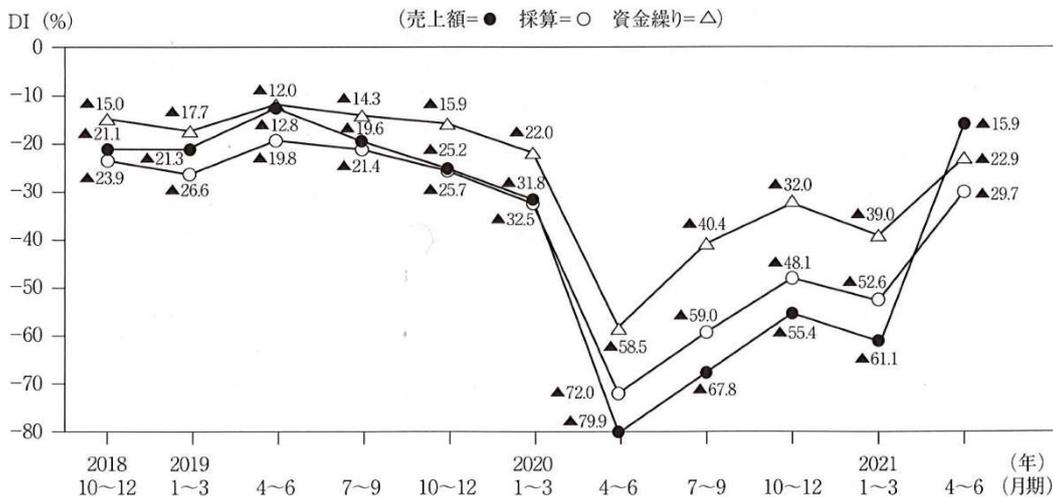
地域別も主要3DIは全て改善しており、中でも売上額の改善幅が大きい。対前期のみ改善幅は36.4ポイント（北海道）から56.3ポイント（関東）まで、全ての地域で回復しており、その結果、「関東」は売上額の水準がマイナス8.9と1桁台にまで上昇した。

人口規模別および従業員規模別でみた状況も同様で、全ての区分でDIは改善している。従業員規模別では、特に比較的大きい区分の売上額が回復しており、全5区分のうち「6人～10人以下」（6.3）「11人～20人以下」（12.3）「21人以上」（18.7）では売上額DIの水準がプラスとなっている。

経営上の問題点の推移をみると、1番の問題として指摘されるのは前回に引き続き「需要の停滞」だったが、その割合は32.3%と前回に比べ1.6ポイント低下した。2位は「利用者ニーズの変化」16.5%でこちらも前回からは1.8ポイント低下している。以降は「その他」12.4%（前期比1.2ポイント低下）、「店舗施設の狭隘・老朽化」8.6%（同1.1ポイント増加）、「従業員の確保難」6.1%（同0.6ポイント増加）と続く。依然として需要不足に対する問題を指摘する経営者が3割を超え圧倒的に多い。一方で今回は6位の「材料等仕入単価の上昇」が2.0ポイント増加しており、コスト面の問題点を指摘する割合が増加したことがわかる。

### 1. 主要3項目の動き

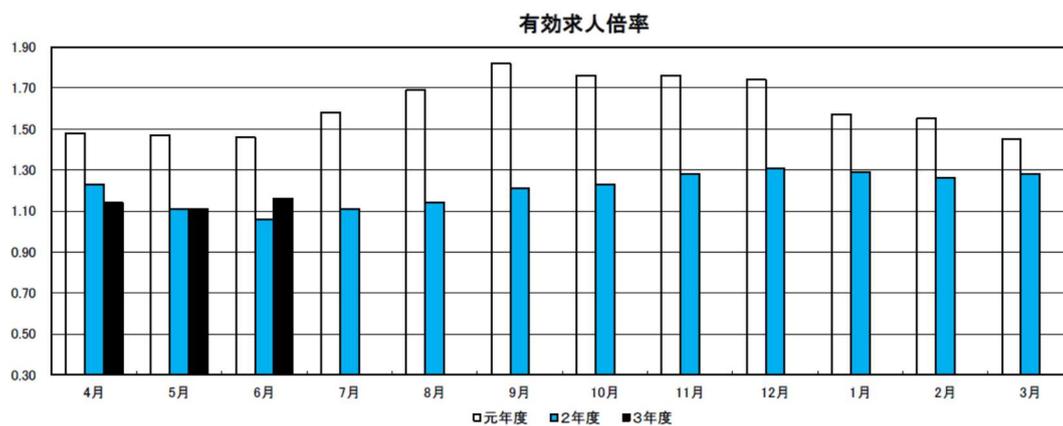
〈図5-1〉主要景況項目の推移 ー前年同期比ー



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	45.2				22.9			
前年比	64.0				42.3			

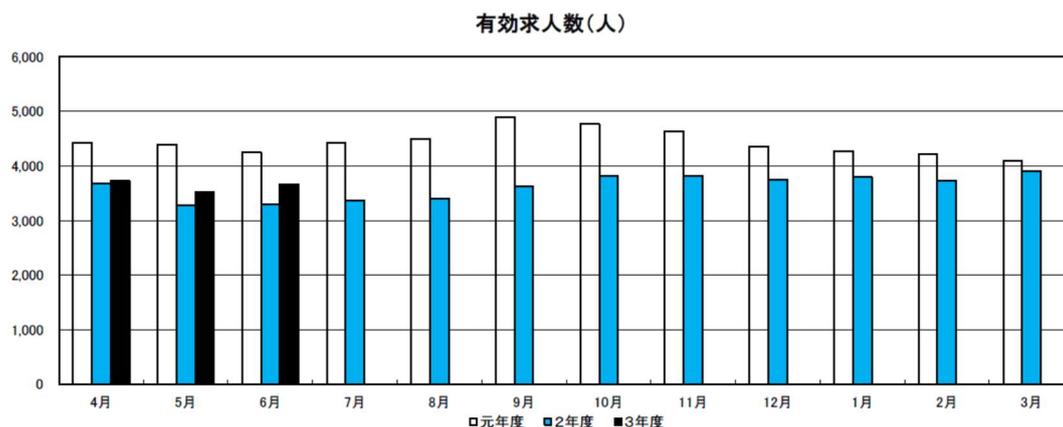
(以上、全国商工会連合会「中小企業景況調査2021年4-6月期」より抜粋)

### ③地域の雇用情勢



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	1.48	1.47	1.46	1.58	1.69	1.82	1.76	1.76	1.74	1.57	1.55	1.45	1.61
2年度	1.23	1.11	1.06	1.11	1.14	1.21	1.23	1.28	1.31	1.29	1.26	1.28	1.21
3年度	1.14	1.11	1.16										
対前月(増減)	△0.14	△0.03	+0.05										—
対前年(増減)	△0.09	0.00	+0.10										—

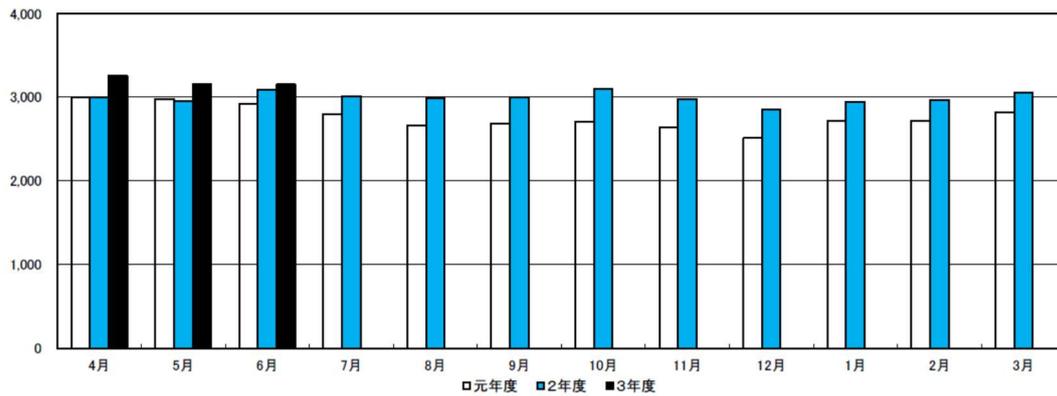
出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	4,426	4,388	4,244	4,429	4,490	4,896	4,763	4,636	4,362	4,271	4,213	4,096	4,435
2年度	3,679	3,287	3,292	3,357	3,401	3,626	3,809	3,806	3,753	3,792	3,724	3,909	3,620
3年度	3,722	3,518	3,657										3,632
前月比(%)	△4.78	△5.48	+3.95										—
前年同月比(%)	+1.17	+7.03	+11.09										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

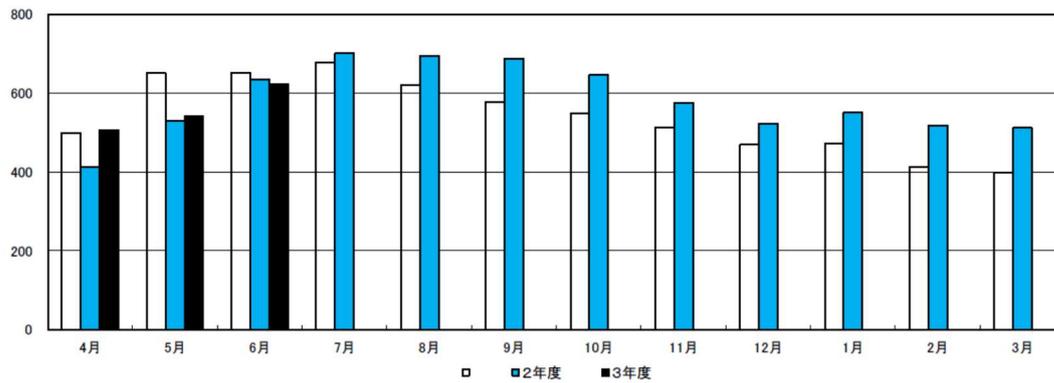
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	3,000	2,983	2,916	2,795	2,663	2,686	2,709	2,638	2,511	2,713	2,722	2,824	2,763
2年度	2,997	2,957	3,095	3,012	2,984	3,004	3,101	2,975	2,854	2,949	2,964	3,052	2,995
3年度	3,256	3,162	3,154										3,191
前月比(%)	+6.68	△2.89	△0.25										—
前年同月比(%)	+8.64	+6.93	+1.91										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	499	651	651	678	620	579	549	512	469	472	412	398	541
2年度	412	529	634	701	695	687	646	576	522	551	519	512	582
3年度	507	542	624										558
前月比(%)	△0.98	+6.90	+15.13										—
前年同月比(%)	+23.06	+2.46	△1.58										—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)

#### ④業種別業況判断

##### 主要業種の概況

鞆卸売業	2、3、4月は通常繁忙期であるが、売上の前年度比は2、3月ともに6割である。雇用調整補助金を6～7割もらい、収支を合わせており、週休5日程の人が65%となっている。商品の発注から利益が出るまでに半年程要する。北近畿豊岡自動車道路延伸が観光客の導線になると予想しており、新規需要獲得を狙い、小売店販売を始めよう計画。海外での展示会には1年以上出展していない。豊岡鞆業界の中で、個人事業主や小規模事業者は後継者問題を抱えており、コロナ禍を機に閉業を考えているところも多い。
宿泊業	売上の前年度比は1月26%、2月22%、3月86%である。4、5月は30%と予想。湯村地区のクリーニング、土産、仕入れを担当する企業も経営状況が悪い。大型バスが動いていないため、団体客から個人客へと焦点を移し、経営効率を上げる。感染症対策としての部屋数を半減した営業はお客様からの評価も高く、今後2年程続ける予定。今後は湯治文化の魅力を広めたり、ロングトレイルやライドの需要を当地区にも取り入れることで、集客に繋げたい。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和3年4月)」より

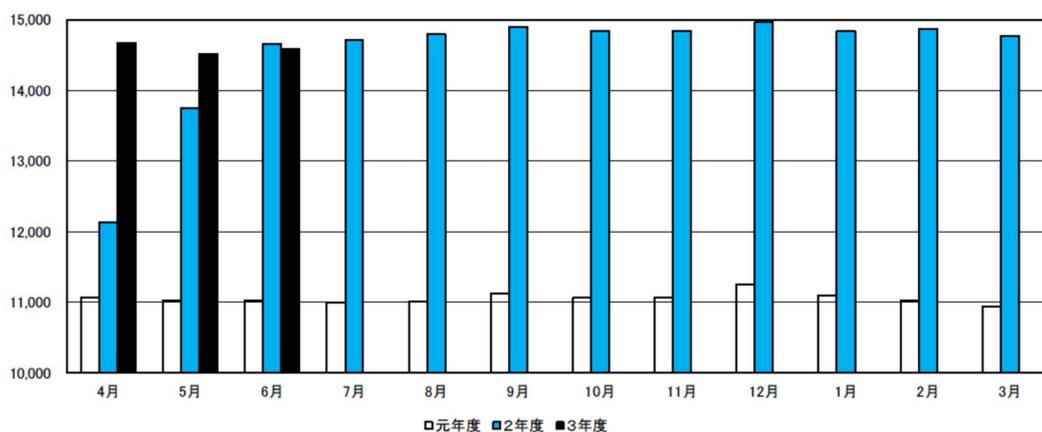
食料品製造業	景況感の良い。巣ごもり傾向により、地元の飲食店等に対する卸売業の売上は伸び悩んでいるが、家庭向けの売上は好調であるため、4.5.6月の全体の売上と受注は前年度比でともに5%程度増加見込み。緊急事態宣言により直売店2店は休業。コロナ禍の前と比べても売上における商品構成に変化はない。また直売店の客層においても変化はない。感染症の対策を行いつつ、恒例の感謝祭をイベント開催の集合型からお弁当のデリバリーとし、海外とはWEB商談を行う等の新しい取り組みを行っている。
宿泊業	景況感悪い。12月中旬から急に客足は途絶え、2.3月は回復したが3度目の緊急事態宣言を受け、客は激減。自然学校や法人旅行はなく、6.7.8月の予約もない。緊急事態宣言により酒の提供を自粛していること、飲食店の時短営業による料理の追加注文がないことも売上の減少に繋がっている。取引先への影響も大きい。地元の需要のみで、経営が厳しい状況の魚屋や八百屋等と優先して取引している。営業時間短縮に伴い、空いた時間で特定の職業に偏る業務の平準化を行う。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和3年5月)」より

繊維工業	景況感の良い。4.5.6月の全体の売上は前年度比で変化はない。実店舗の売上は落ち込むが、巣ごもり需要によりネット販売は伸びている。アパレル事業の売上が落ち込み、機能ソリューション事業の売上が伸びている。蓄電池を使った機能メディカル分野が特に伸びている。地域総合職の採用を積極的に行う予定。従業員は多国籍であり、4分の1程は外国人。全員が年休を5日間取得できているが、目標である14日を取得できている人は半数。
電気機械器具製造業	景況感の良い。4.5.6月の全体の売上は前年度比で15%増加、利益は180%増加。新型コロナウイルス感染症の影響で主要顧客の1つである自動車の動向が不安定。生産見通しを立て難いため、受注を見て販売計画を作成するしかない。自動車電動化の注目により、自動車向けの磁石の売上が回復しているが、あまり利益にならない。FAの売上の伸びにより、利益が増加。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、海外の工場が閉鎖されたこともあった。昨年夏から仕事量の増加により残業が多い。そのため派遣社員を10人増やした。

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和3年6月)」より

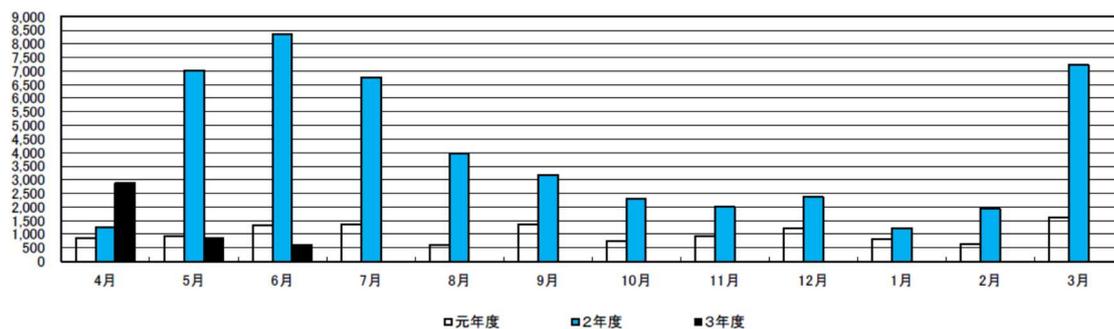
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	11,073	11,024	11,031	10,992	11,008	11,122	11,062	11,066	11,258	11,105	11,034	10,938	11,059
2年度	12,130	13,749	14,657	14,720	14,793	14,907	14,844	14,845	14,964	14,837	14,875	14,777	14,508
3年度	14,674	14,514	14,589										14,592
前月比 (%)	△0.70	△1.09	+0.52										—
前年同月比 (%)	+20.97	+5.56	△0.46										—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

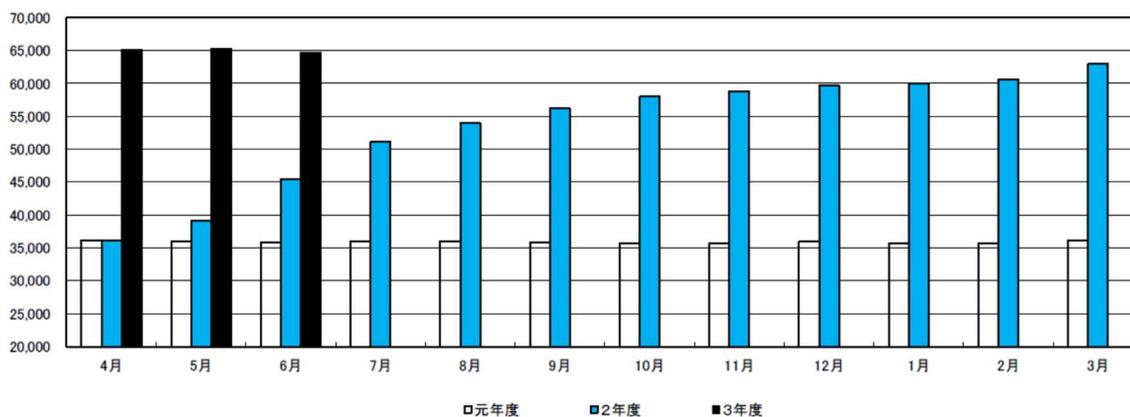
### 信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	865	934	1,319	1,368	615	1,348	759	925	1,209	817	624	1,627	1,034
2年度	1,257	7,020	8,344	6,779	3,971	3,178	2,315	1,999	2,362	1,233	1,929	7,230	3,968
3年度	2,874	862	588										1,441
前月比 (%)	△60.25	△70.01	△31.79										—
前年同月比 (%)	+128.64	△87.72	△92.95										—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

### 信用保証債務残高(百万円)

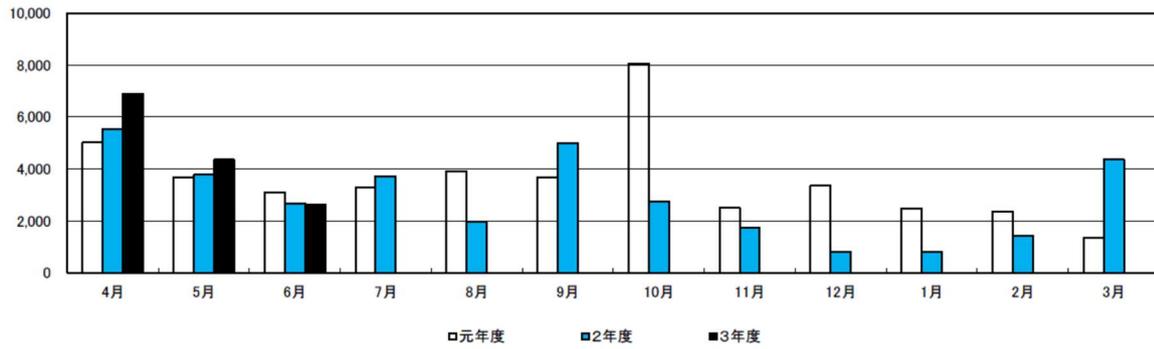


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	36,183	35,966	35,869	36,013	36,064	35,856	35,678	35,635	35,926	35,721	35,735	36,121	35,897
2年度	36,127	39,209	45,460	51,094	53,953	56,166	57,992	58,818	59,633	60,075	60,667	62,951	53,512
3年度	65,099	65,265	64,599										64,988
前月比 (%)	+3.41	+0.25	△1.02										—
前年同月比 (%)	+80.19	+66.45	+42.1										—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

## 公共工事

公共工事請負金額(百万円)

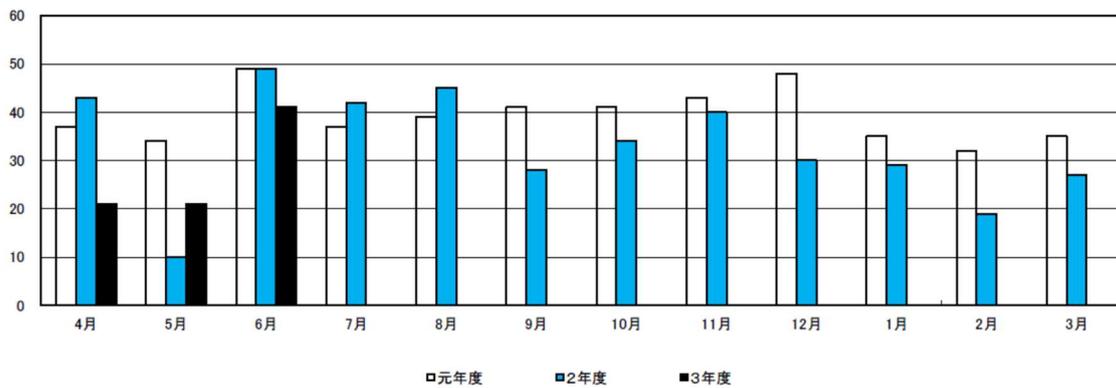


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
元年度	5,010	3,657	3,104	3,296	3,898	3,678	8,053	2,491	3,358	2,487	2,357	1,334	3,560
2年度	5,542	3,771	2,661	3,727	1,957	5,007	2,749	1,724	783	798	1,420	4,350	2,874
3年度	6,887	4,349	2,642										4,626
前月比(%)	58.32	△ 36.85	△ 39.25										—
前年同月比(%)	24.27	15.33	△ 0.71										—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

## 企業倒産

企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
元年度	37	34	49	37	39	41	41	43	48	35	32	35	471
2年度	43	10	49	42	45	28	34	40	30	29	19	27	396
3年度	21	21	41										83

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)